

# JIS

## 1,2-ジクロロエタン (試薬)

JIS K 8465 : 2011

(JRA/JSA)

平成 23 年 3 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 一般化学技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	中 村 洋	東京理科大学
(委員)	井 上 進	社団法人日本化学工業協会
	小 森 亨 一	社団法人日本分析機器工業会 (株式会社島津製作所)
	嶋 田 圭 吾	社団法人日本試薬協会 (米山薬品工業株式会社)
	高 津 章 子	独立行政法人産業技術総合研究所
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	田 和 健 次	石油連盟
	角 田 欣 一	群馬大学
	中 村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	西 本 右 子	神奈川大学
	松 永 孝 治	日本プラスチック工業連盟
	松 本 保 輔	一般財団法人化学物質評価研究機構

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 38.2.1 改正：平成 23.3.22

官 報 公 示：平成 23.3.22

原 案 作 成 者：社団法人日本試薬協会

(〒103-0032 東京都中央区日本橋室町 4-6-7 TEL 03-3279-5055)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：一般化学技術専門委員会 (委員長 中村 洋)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 種類.....	2
4 性質.....	2
4.1 性状.....	2
4.2 定性方法.....	2
5 品質.....	3
6 試験方法.....	3
6.1 一般事項.....	3
6.2 純度 (CH <sub>2</sub> ClCH <sub>2</sub> Cl) (GC).....	3
6.3 密度 (20 °C).....	4
6.4 水分.....	4
6.5 不揮発物.....	4
6.6 酸 (HCl として).....	4
6.7 塩化物 (Cl).....	7
6.8 よう素消費物質.....	8
6.9 硫酸着色物質.....	10
7 容器.....	11
8 表示.....	11
9 取扱い上の注意事項.....	12
解 説.....	13